

登米市の環境についての市民アンケート調査 調査結果報告書

- 1 対象
18歳以上の市民 2,000人（令和7年2月28日時点の住民基本台帳から無作為抽出）
- 2 調査期間
令和7年4月1日（火）から令和7年4月30日（水）まで
ただし、集計期間中（5月30日まで）に提出のあった回答は有効とした。
- 3 調査方法
 - (1) 調査用紙の配付
令和7年3月31日の行政区長配布により配布
 - (2) 調査用紙の回収方法
郵送、総合支所への提出、WEB回答（Logoフォーム）とした。
 - ①総合支所への提出 2件（全回収数の約0.2%）
 - ②WEB回答 149件（全回収数の約15.0%）
- 4 調査項目

調査項目は全21項目（質問）とした。
回答方法については、問21のみ記述式、他はすべて選択式とした。

- | |
|--|
| 問1 あなたの性別を教えてください。 |
| 問2 あなたのお住まいの地域を教えてください。 |
| 問3 あなたの年齢区分を教えてください。 |
| 問4 あなたは、次の言葉を知っていますか。 <ol style="list-style-type: none">①生物多様性②地球温暖化③気候変動④カーボンニュートラル⑤再生可能エネルギー⑥PM2.5⑦循環型社会⑧4R活動 |
| 問5 あなたは、自分の住んでいるところの自然がどのくらい豊かだと思いますか。 |
| 問6 あなたは、自分の住んでいるところがどのくらい発展していると思いますか。 |
| 問7 あなたは、あなたの子どもの頃と現在を比べて、登米市の環境は変わったと思いますか。 |
| 問8 あなたは、登米市が今後、環境と開発のどちらにより力を入れるべきだと思いますか。 |
| 問9 あなたは、登米市では環境と産業（経済）のどちらを優先すべきだと思いますか。 |
| 問10 あなたの環境への重視度と満足度を教えてください。 |
| 問11 あなたは、登米市の環境対策の中で、最も急いで進めるべきものは何だと考えていますか。 |
| 問12 あなたが、登米市の環境行政に最も望むことは何ですか。 |
| 問13 あなたは、日ごろの生活で環境にやさしい（配慮している）方だと思いますか。 |
| 問14 あなたの家庭では、電気、ガス、灯油などの省エネに取り組んでいますか。 |
| 問15 あなたの自宅では、太陽光発電設備を導入していますか。 |
| 問16 あなたは、資源ごみをリサイクルとして回収できるように他のごみと分けていますか。 |
| 問17 あなたは、廃食油（使用済みの天ぷら油など）をどのように処分していますか。 |
| 問18 あなたは買い物の時、エコマークのついた商品など環境にやさしい商品を選んでいますか。 |
| 問19 あなたは、環境のことを学ぶのが好きですか。 |
| 問20 あなたは、家族や仲間などと一緒に環境を守る活動に取り組んでみたいと思いますか。 |
| 問21 環境問題、環境行政に関して御意見や御要望がありましたらご記入ください。 |

登米市の環境についての市民アンケート

【回答結果】

1 回収率

今回調査 (令和7年度) (A)			前回調査 (平成26年度) (B)			比較 (A-B)	
配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	回収数 (人)	回収率 (%)
2,000	991	49.6	2,000	1,122	56.1	▲ 131	▲ 6.6

2 性別・地域・年齢区分による回答率（問1～問3）

問1 あなたの性別を教えてください。

性別	今回調査 (令和7年度) (A)			前回調査 (平成26年度) (B)			比較 (A-B)	
	配布数 (人)	回答数 (人)	回収率 (%)	配布数 (人)	回答数 (人)	回収率 (%)	回答数 (人)	回収率 (%)
男	1,000	399	40	1,037	496	48	▲ 97	▲ 7.9
女	1,000	579	58	963	608	63	▲ 29	▲ 5.2
その他	—	0	—	—	—	—	—	—
無回答	—	13	—	—	18	—	—	—

問2 あなたのお住まいの地域を教えてください。

地域	今回調査 (令和7年度) (A)			前回調査 (平成26年度) (B)			比較 (A-B)	
	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	回収数 (人)	回収率 (%)
迫	521	240	46.1	516	280	54.3	▲ 40	▲ 8.2
登米	134	83	61.9	118	73	61.9	10	0.1
東和	153	75	49.0	162	93	57.4	▲ 18	▲ 8.4
中田	407	208	51.1	378	214	56.6	▲ 6	▲ 5.5
豊里	156	69	44.2	164	87	53.0	▲ 18	▲ 8.8
米山	223	112	50.2	234	121	51.7	▲ 9	▲ 1.5
石越	125	77	61.6	128	80	62.5	▲ 3	▲ 0.9
南方	217	94	43.3	214	117	54.7	▲ 23	▲ 11.4
津山	64	28	43.8	86	55	64.0	▲ 27	▲ 20.2
無回答	—	5	—	—	2	—	—	—

問3 あなたの年齢区分を教えてください。

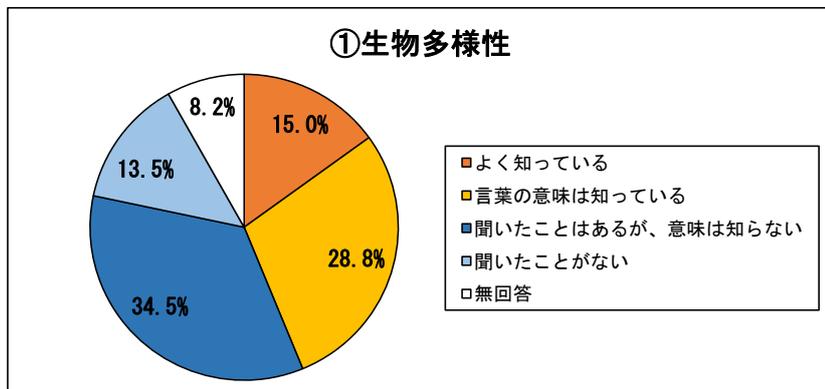
年齢	今回調査 (令和7年度) (A)			前回調査 (平成26年度) (B)			比較 (A-B)	
	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	回収数 (人)	回収率 (%)
18～29歳	198	37	18.7	259	94	36.3	▲ 57	▲ 17.6
30～39歳	218	57	26.1	324	150	46.3	▲ 93	▲ 20.1
40～49歳	309	141	45.6	246	113	45.9	28	▲ 0.3
50～59歳	296	125	42.2	393	243	61.8	▲ 118	▲ 19.6
60～69歳	408	255	62.5	451	305	67.6	▲ 50	▲ 5.1
70歳以上	571	370	64.8	327	215	65.7	155	▲ 1.0
無回答	—	6	—	—	2	—	4	—

登米市の環境についての市民アンケート調査
【設問別調査結果】

問4 あなたは、次の言葉を知っていますか。

①生物多様性

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答（人）	149	285	342	134	81
構成比（％）	(15.0)	(28.8)	(34.5)	(13.5)	(8.2)

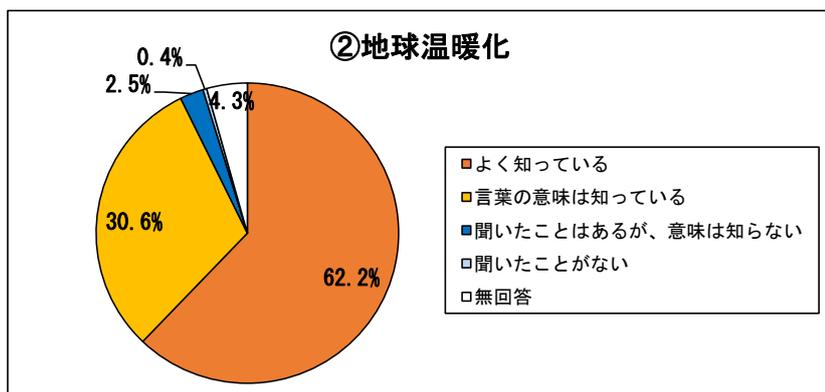


【調査結果の概要】

・「聞いたことはあるが、意味は知らない」の割合が34.5%で最も多く、次に「言葉の意味は知っている」が28.8%で多かった。
 ・全体としては、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」を合わせた割合が43.8%で、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と「聞いたことがない」を合わせた割合が48.0%であった。

②地球温暖化

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答（人）	616	303	25	4	43
構成比（％）	(62.2)	(30.6)	(2.5)	(0.4)	(4.3)

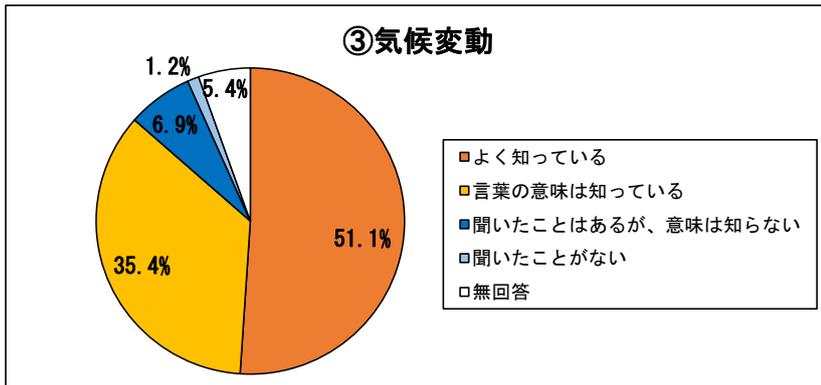


【調査結果の概要】

・「よく知っている」の割合が62.2%で最も多く、次に「言葉の意味は知っている」が30.6%で多かった。
 ・全体としては、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」を合わせた割合が92.8%と、認知度は高くなっており、社会的な関心の高さが反映されていると考えられる。

③気候変動

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	506	351	68	12	54
(構成比(%))	(51.1)	(35.4)	(6.9)	(1.2)	(5.4)

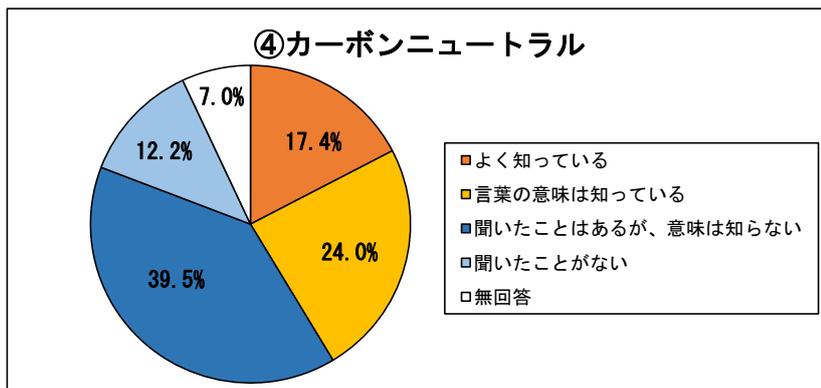


【調査結果の概要】

・「よく知っている」の割合が51.1%で最も多く、次に「言葉の意味は知っている」が35.4%が多かった。
 ・全体としては、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」を合わせた割合が86.5%と、認知度は高くなっており、「地球温暖化」と合わせて認知する機会が増えていると考えられる。

④カーボンニュートラル

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	172	238	391	121	69
(構成比(%))	(17.4)	(24.0)	(39.5)	(12.2)	(7.0)

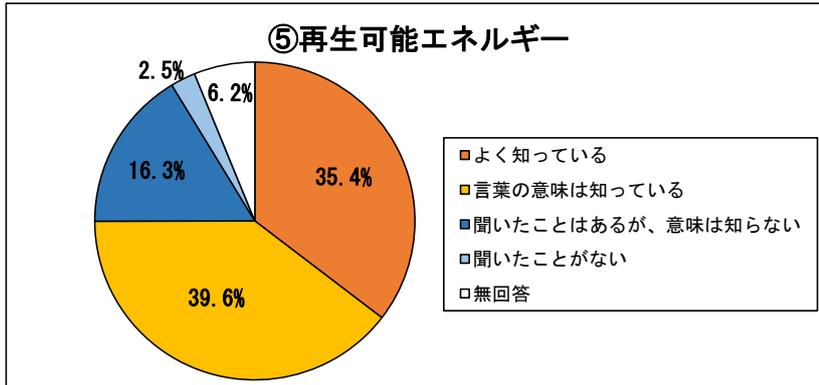


【調査結果の概要】

・「聞いたことはあるが、意味が知らない」の割合が39.5%で最も多く、次に「言葉の意味は知っている」が24.0%が多かった。
 ・全体としては、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」を合わせた割合が41.4%で、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と「聞いたことがない」を合わせた割合が51.7%となり、関連する「地球温暖化」や「気候変動」と比較すると認知度は低くなった。

⑤再生可能エネルギー

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	351	392	162	25	61
(構成比(%))	(35.4)	(39.6)	(16.3)	(2.5)	(6.2)

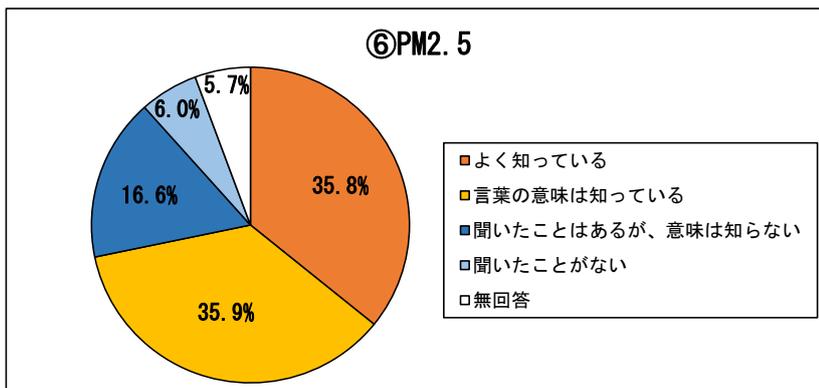


【調査結果の概要】

・「言葉の意味は知っている」の割合が39.6%で最も多く、次に「よく知っている」が35.4%が多かった。
 ・全体としては、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」を合わせた割合が75.0%と、認知度は高くなっており、様々な課題も踏まえ、社会的な関心が高まっていることが考えられる。

⑥PM2.5

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	355	356	165	59	56
(構成比(%))	(35.8)	(35.9)	(16.6)	(6.0)	(5.7)

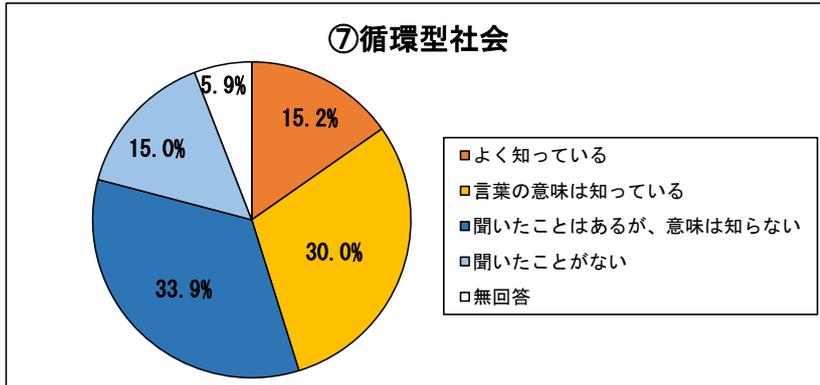


【調査結果の概要】

・「言葉の意味は知っている」の割合が35.9%で最も多く、次に「よく知っている」が35.8%が多かった。
 ・全体としては、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」を合わせた割合が71.7%と、認知度は高くなっており、認知する機会が多いものと考えられる。

⑦循環型社会

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	151	297	336	149	58
(構成比(%))	(15.2)	(30.0)	(33.9)	(15.0)	(5.9)

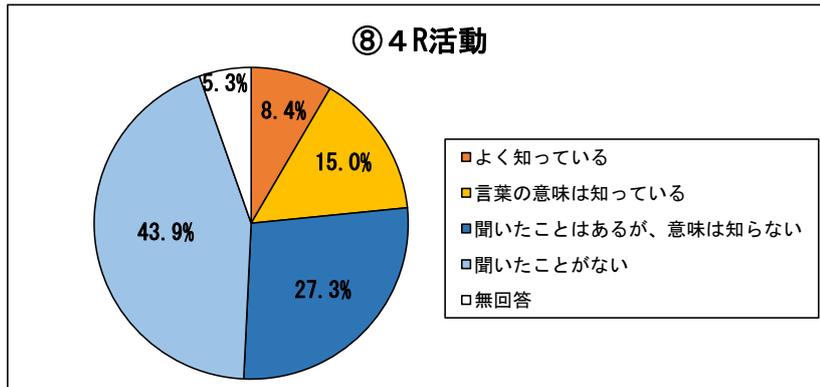


【調査結果の概要】

- ・「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らない」の割合が33.9%で最も多く、次に「言葉の意味は知っている」が30.0%で多かった。
- ・全体としては、「よく知っている」と「言葉の意味は知っている」を合わせた割合が45.2%で、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と「聞いたことがない」を合わせた割合が48.9%であった。

⑧4R活動

	よく知っている	言葉の意味は知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがない	無回答
回答(人)	83	149	271	435	53
(構成比(%))	(8.4)	(15.0)	(27.3)	(43.9)	(5.3)

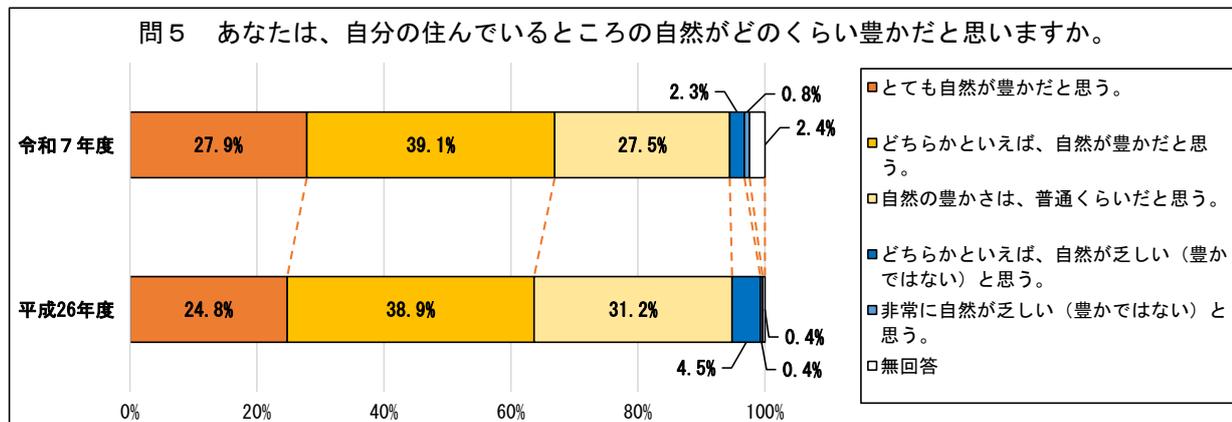


【調査結果の概要】

- ・「聞いたことがない」の割合が43.9%で最も多く、次に「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らない」が27.3%で多かった。
- ・全体としては、「聞いたことはあるが、意味は知らない」と「聞いたことがない」を合わせた割合が71.2%となり、認知する機会が多くはないと考えられる。

問5 あなたは、自分の住んでいるところの自然がどのくらい豊かだと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても自然が豊かだと思う。	276	27.9	278	24.8	▲ 2	3.1
どちらかといえば、自然が豊かだと思う。	387	39.1	436	38.9	▲ 49	0.2
自然の豊かさは、普通くらいだと思う。	273	27.5	350	31.2	▲ 77	▲ 3.6
どちらかといえば、自然が乏しい(豊かではない)と思う。	23	2.3	50	4.5	▲ 27	▲ 2.1
非常に自然が乏しい(豊かではない)と思う。	8	0.8	4	0.4	4	0.5
無回答	24	2.4	4	0.4	20	2.1

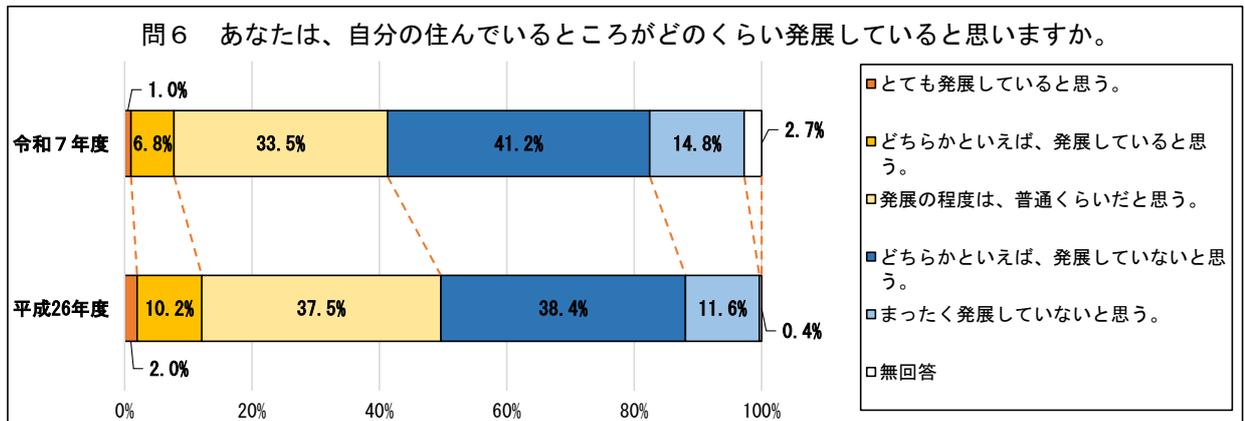


【調査結果の概要】

・「どちらかといえば、自然が豊かだと思う」の割合が39.1%で最も多く、次に「とても自然が豊かだと思う」の割合が27.9%であった。
 ・前回と比較して、「自然の豊かさは、普通くらいだと思う」が3.6%、「どちらかといえば、自然が乏しい(豊かではない)と思う」が2.1%、それぞれ減少し、「とても自然が豊かだと思う」が3.1%増加した。
 ・全体としては、前回と同様の傾向で、「とても自然が豊かだと思う」と「どちらかといえば、自然が豊かだと思う」を合わせた「自然が豊かだと思う」割合が66.9%と最も多く、前回よりも増加した一方で、自然が乏しいと思う割合が減少した。

問6 あなたは、自分の住んでいるところがどのくらい発展していると思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても発展していると思う。	10	1.0	22	2.0	▲ 12	▲ 1.0
どちらかといえば、発展していると思う。	67	6.8	114	10.2	▲ 47	▲ 3.4
発展の程度は、普通くらいだと思う。	332	33.5	421	37.5	▲ 89	▲ 4.0
どちらかといえば、発展していないと思う。	408	41.2	431	38.4	▲ 23	2.8
まったく発展していないと思う。	147	14.8	130	11.6	17	3.2
無回答	27	2.7	4	0.4	23	2.4

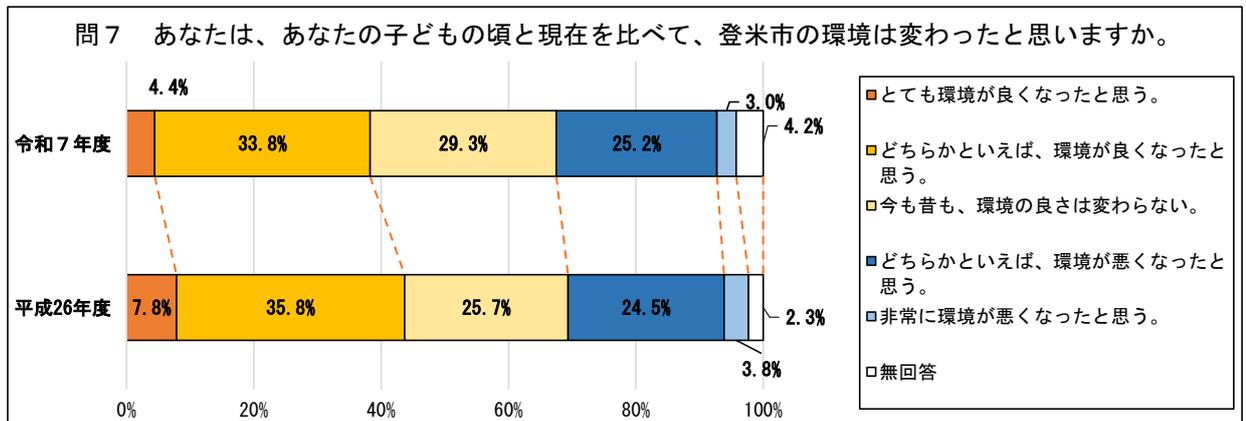


【調査結果の概要】

- ・「どちらかといえば、発展していないと思う」の割合が41.2%で最も多く、次に「発展の程度は、普通くらいだと思う」の割合が33.5%であった。
- ・前回と比較して、「とても発展していると思う」が1.0%、「どちらかといえば、発展していると思う」が3.4%、「発展の程度は、普通くらいだと思う」が4.0%、それぞれ減少し、「どちらかといえば、発展していないと思う」が2.8%、「まったく発展していないと思う」が3.2%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「どちらかといえば、発展していないと思う」と「まったく発展していないと思う」を合わせた「発展していない」と思う割合が56.0%となり、前回よりも増加した一方で、発展していると思う割合が減少した。

問7 あなたは、あなたの子どもの頃と現在を比べて、登米市の環境は変わったと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても環境が良くなったと思う。	44	4.4	88	7.8	▲ 44	▲ 3.4
どちらかといえば、環境が良くなったと思う。	335	33.8	402	35.8	▲ 67	▲ 2.0
今も昔も、環境の良さは変わらない。	290	29.3	288	25.7	2	3.6
どちらかといえば、環境が悪くなったと思う。	250	25.2	275	24.5	▲ 25	0.7
非常に環境が悪くなったと思う。	30	3.0	43	3.8	▲ 13	▲ 0.8
無回答	42	4.2	26	2.3	16	1.9

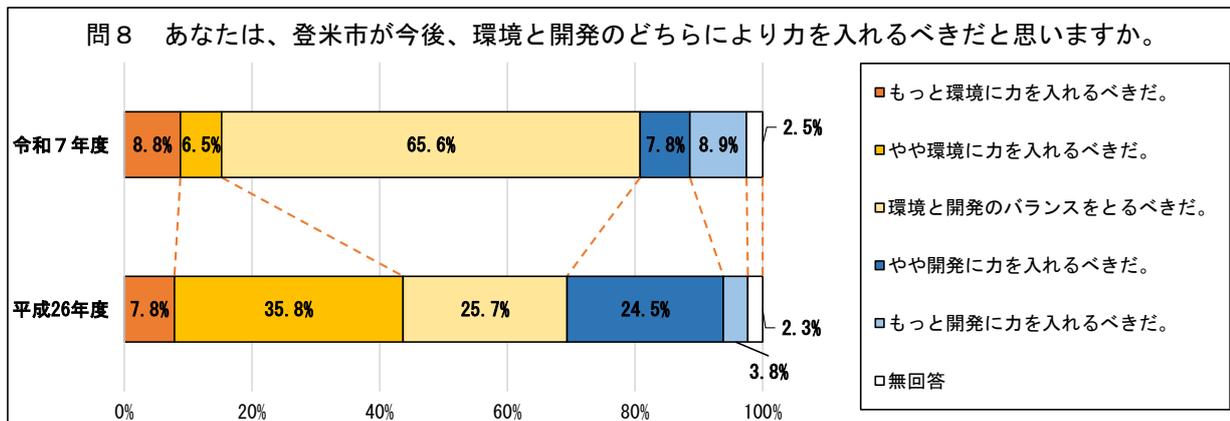


【調査結果の概要】

- ・「どちらかといえば、環境が良くなったと思う」の割合が33.8%で最も多く、次に「今も昔も、環境の良さは変わらない」の割合が29.3%であった。
- ・前回と比較して、「とても環境が良くなったと思う」が3.4%、「どちらかといえば、環境が良くなったと思う」が2.0%、「非常に環境が悪くなったと思う」が0.8%、それぞれ減少し、「今も昔も、環境の良さは変わらない」が3.6%、「どちらかといえば、環境が悪くなったと思う」が0.7%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「環境が良くなった」と思う割合が最も多かったものの、前回との比較では割合が減少し、「環境が悪くなった」と思う割合については前回とほとんど差異がなかったが、一方で「今も昔も、環境の良さは変わらない」と思う割合は前回よりも増加した。

問8 あなたは、登米市が今後、環境と開発のどちらにより力を入れるべきだと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
もっと環境に力を入れるべきだ。	87	8.8	88	7.8	▲ 1	0.9
やや環境に力を入れるべきだ。	64	6.5	402	35.8	▲ 338	▲ 29.4
環境と開発のバランスをとるべきだ。	650	65.6	288	25.7	362	39.9
やや開発に力を入れるべきだ。	77	7.8	275	24.5	▲ 198	▲ 16.7
もっと開発に力を入れるべきだ。	88	8.9	43	3.8	45	5.0
無回答	25	2.5	26	2.3	▲ 1	0.2



【調査結果の概要】

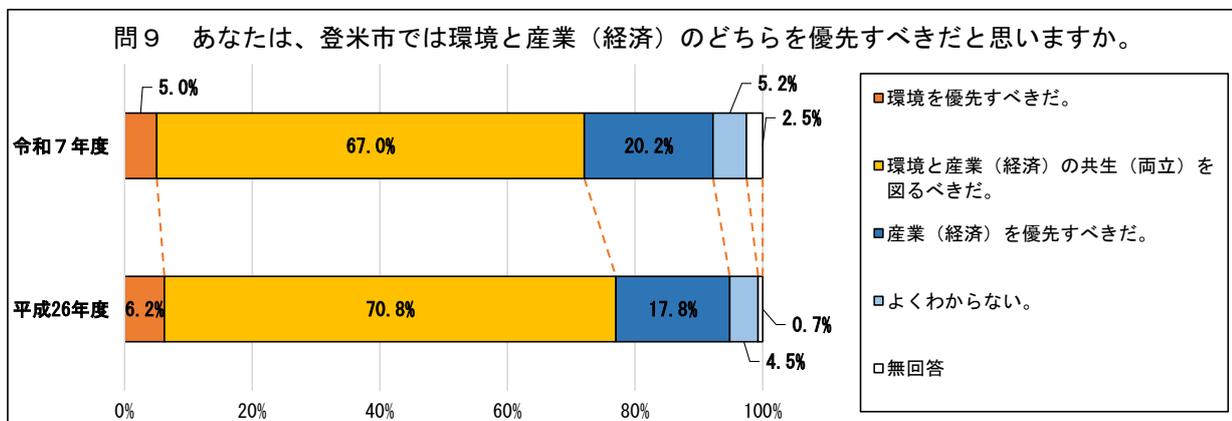
・「環境と開発のバランスをとるべきだ」の割合が65.6%で最も多く、続いて、「もっと開発に力を入れるべきだ」の割合が8.9%、「もっと環境に力を入れるべきだ」の割合が8.8%であった。

・前回と比較して、「やや環境に力を入れるべきだ」が29.4%、「やや開発に力を入れるべきだ」が16.7%、それぞれ減少し、「もっと環境に力を入れるべきだ」が0.9%、「環境と開発のバランスをとるべきだ」が39.9%、「もっと環境に力を入れるべきだ」が3.6%、「どちらかといえば、環境が悪くなったと思う」が0.7%、それぞれ増加した。

・全体としては、「環境に力を入れるべきだ」と思う割合と「開発に力を入れるべきだ」と思う割合が、いずれも大きく減少し、「環境と開発のバランスをとるべきだ」の割合が65.6%と大きく増加した一方で、環境に力を入れるべきと思う割合よりも環境に力を入れるべきと思う割合が若干ではあるが多かった。

問9 あなたは、登米市では環境と産業（経済）のどちらを優先すべきだと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境を優先すべきだ。	50	5.0	70	6.2	▲ 20	▲ 1.2
環境と産業（経済）の共生（両立）を図るべきだ。	664	67.0	794	70.8	▲ 130	▲ 3.8
産業（経済）を優先すべきだ。	200	20.2	200	17.8	0	2.4
よくわからない。	52	5.2	50	4.5	2	0.8
無回答	25	2.5	8	0.7	17	1.8

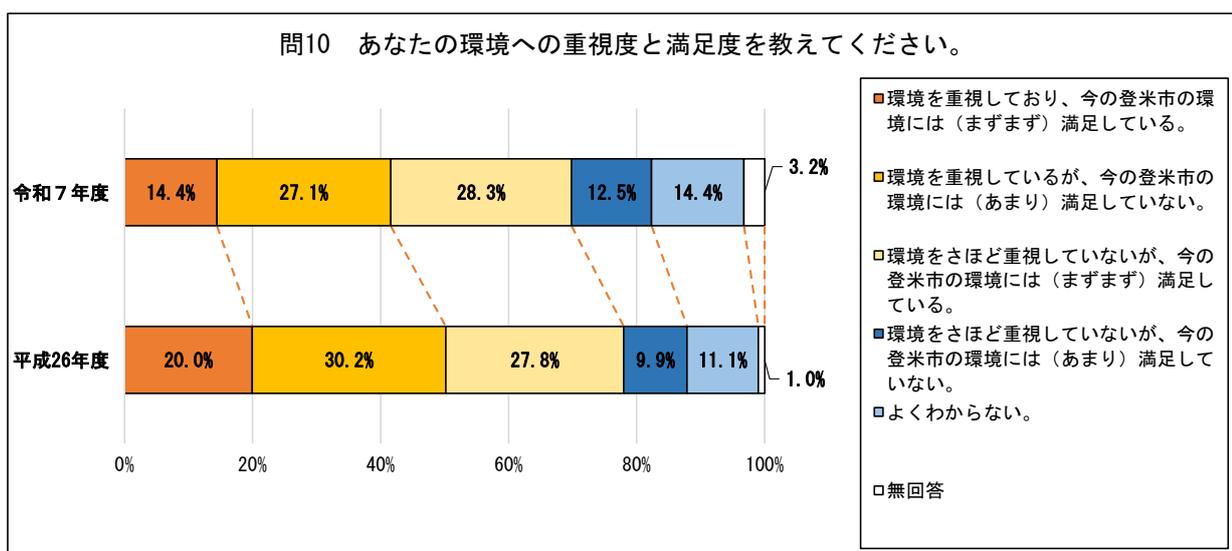


【調査結果の概要】

- ・「環境と産業の共生を図るべきだ」の割合が67.0%で最も多く、次に、「産業を優先すべきだ」の割合が20.2%が多かった。
- ・前回と比較して、「環境を優先すべきだ」が1.2%、「環境と産業の共生を図るべきだ」が3.8%、それぞれ減少し、「産業を優先すべきだ」が2.4%増加した。
- ・全体としては、「環境と産業の共生を図るべきだ」の割合が最も多かったものの、その割合は前回よりも減少した一方で、「産業を優先すべきだ」の割合が前回よりも増加した。

問10 あなたの環境への重視度と満足度を教えてください。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境を重視しており、今の登米市の環境には（まずまず）満足している。	143	14.4	224	20.0	▲ 81	▲ 5.5
環境を重視しているが、今の登米市の環境には（あまり）満足していない。	269	27.1	339	30.2	▲ 70	▲ 3.1
環境をさほど重視していないが、今の登米市の環境には（まずまず）満足している。	280	28.3	312	27.8	▲ 32	0.4
環境をさほど重視していないが、今の登米市の環境には（あまり）満足していない。	124	12.5	111	9.9	13	2.6
よくわからない。	143	14.4	125	11.1	18	3.3
無回答	32	3.2	11	1.0	21	2.2

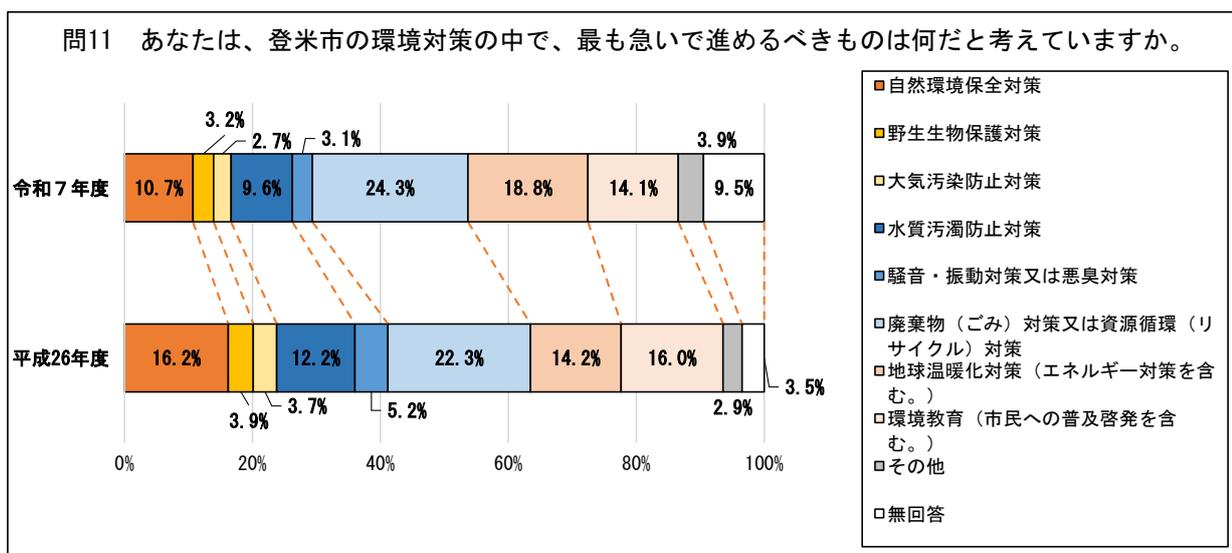


【調査結果の概要】

- ・「環境をさほど重視していないが、今の登米市の環境には満足している」の割合が28.3%で最も多く、次に、「環境を重視しているが、今の登米市の環境には満足していない」の割合が27.1%で多かった。
- ・前回と比較して、「環境を重視しており、今の登米市の環境には満足している」が5.5%、「環境を重視しているが、今の登米市の環境には満足していない」が3.1%、それぞれ減少し、「環境をさほど重視していないが、今の登米市の環境には満足している」が0.4%、「環境をさほど重視していないが、今の登米市の環境には満足していない」が2.6%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「環境を重視している」の割合が減少し、「環境を重視していない」の割合が増加した。

問11 あなたは、登米市の環境対策の中で、最も急いで進めるべきものは何だと考えていますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
自然環境保全対策	106	10.7	182	16.2	▲ 76	▲ 5.5
野生生物保護対策	32	3.2	44	3.9	▲ 12	▲ 0.7
大気汚染防止対策	27	2.7	41	3.7	▲ 14	▲ 0.9
水質汚濁防止対策	95	9.6	137	12.2	▲ 42	▲ 2.6
騒音・振動対策又は悪臭対策	31	3.1	58	5.2	▲ 27	▲ 2.0
廃棄物（ごみ）対策又は資源循環（リサイクル）対策	241	24.3	250	22.3	▲ 9	▲ 2.0
地球温暖化対策（エネルギー対策を含む。）	186	18.8	159	14.2	▲ 27	▲ 4.6
環境教育（市民への普及啓発を含む。）	140	14.1	179	16.0	▲ 39	▲ 1.8
その他	39	3.9	33	2.9	▲ 6	▲ 1.0
無回答	94	9.5	39	3.5	▲ 55	▲ 6.0

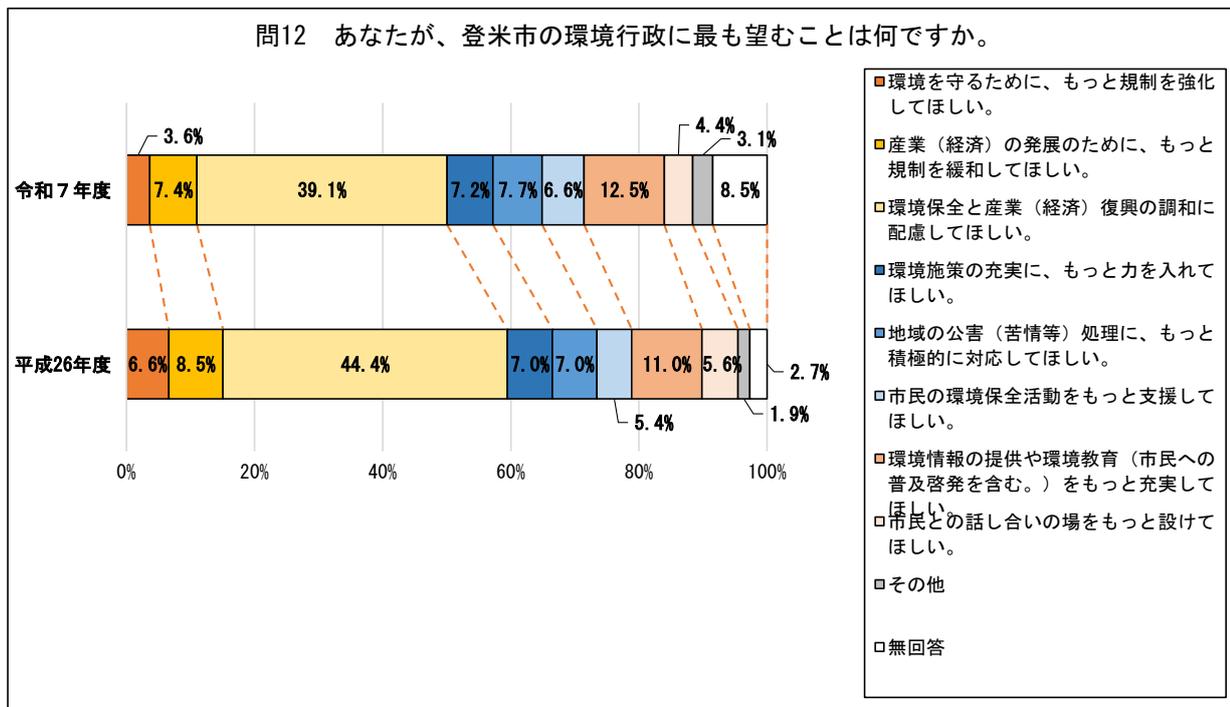


【調査結果の概要】

- ・「廃棄物対策・資源循環対策」の割合が24.3%で最も多く、続いて、「地球温暖化対策」が18.8%、「環境教育」が14.1%で多かった。
- ・前回と比較して、「自然環境保全対策」が5.5%、「野生生物保護対策」が0.7%、「大気汚染防止対策」が0.9%、「水質汚濁防止対策」が2.6%、「騒音・振動対策・悪臭対策」が2.0%、環境教育が1.8%、それぞれ減少し、「廃棄物対策・資源循環対策」が2.0%、「地球温暖化対策」が4.6%、それぞれ増加した
- ・全体としては、「廃棄物対策・資源循環対策」と「地球温暖化対策」の割合が増加し、社会的な関心度や市の環境施策等が反映されていることが考えられる。
- ・その他の回答としては、主に「空き家・耕作放棄地対策」、「野焼き対策」、「不法投棄対策」、「道路沿いの街路樹整備・雑草処理」、「ソーラーパネル対策」、「汚染稲わら対策」、「鳥獣被害対策」であった。

問12 あなたが、登米市の環境行政に最も望むことは何ですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
環境を守るために、もっと規制を強化してほしい。	36	3.6	74	6.6	▲ 38	▲ 3.0
産業（経済）の発展のために、もっと規制を緩和してほしい。	73	7.4	95	8.5	▲ 22	▲ 1.1
環境保全と産業（経済）復興の調和に配慮してほしい。	387	39.1	498	44.4	▲ 111	▲ 5.3
環境施策の充実に、もっと力を入れてほしい。	71	7.2	79	7.0	▲ 8	0.1
地域の公害（苦情等）処理に、もっと積極的に対応してほしい。	76	7.7	78	7.0	▲ 2	0.7
市民の環境保全活動をもっと支援してほしい。	65	6.6	61	5.4	4	1.1
環境情報の提供や環境教育（市民への普及啓発を含む。）をもっと充実してほしい。	124	12.5	123	11.0	1	1.6
市民との話し合いの場をもっと設けてほしい。	44	4.4	63	5.6	▲ 19	▲ 1.2
その他	31	3.1	21	1.9	10	1.3
無回答	84	8.5	30	2.7	54	5.8

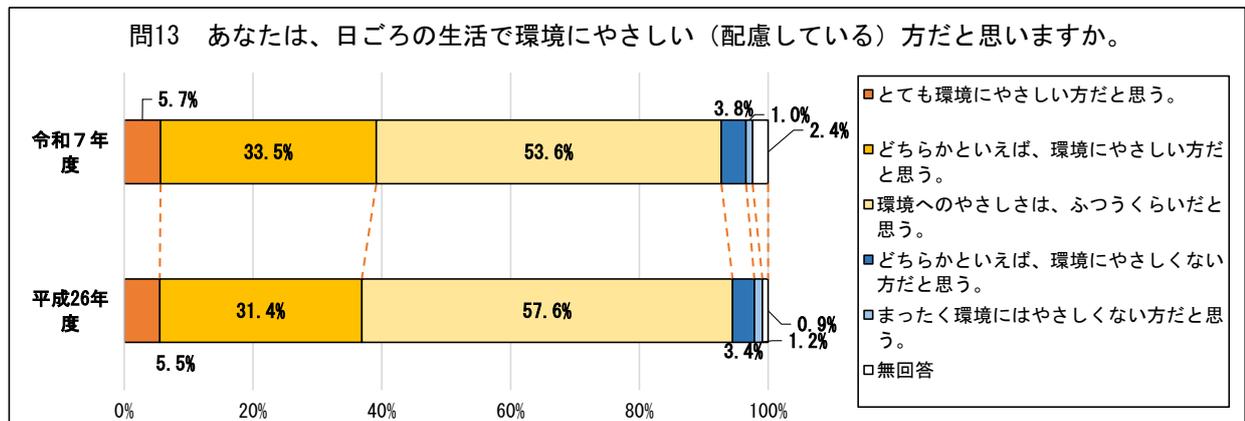


【調査結果の概要】

・「環境保全と産業復興の調和に配慮してほしい」の割合が39.1%で最も多く、次に、「環境情報の提供や環境教育をもっと充実してほしい」が12.5%で多かった。
 ・前回と比較して、「環境を守るために、もっと規制を強化してほしい」が3.0%、「産業の発展のために、もっと規制を緩和してほしい」が1.1%、「環境保全と産業復興の調和に配慮してほしい」が5.3%、「市民との話し合いの場をもっと設けてほしい」が1.2%、それぞれ減少し、「市民の環境保全活動をもっと支援してほしい」が1.1%、「環境情報の提供や環境教育をもっと充実してほしい」が1.6%、それぞれ増加した
 ・全体としては、「環境保全と産業復興の調和に配慮してほしい」の割合が最も多かったものの、前回よりも減少しており、規制強化・緩和に関する割合も減少した一方で、市民の環境活動支援や環境情報・教育の充実に係る割合が増加した。
 ・その他の回答としては、主に「空き家問題」、「ソーラーパネル廃棄問題」、「山林整備」、「農業強化」、「悪質な開発への対策」であった。

問13 あなたは、日ごろの生活で環境にやさしい（配慮している）方だと思いませんか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても環境にやさしい方だと思う。	56	5.7	62	5.5	-6	0.1
どちらかといえば、環境にやさしい方 だと思う。	332	33.5	352	31.4	-20	2.1
環境へのやさしさは、ふつうくらいだ と思う。	531	53.6	646	57.6	-115	▲ 4.0
どちらかといえば、環境にやさしくない 方だと思う。	38	3.8	38	3.4	0	0.4
まったく環境にはやさしくない方だと思 う。	10	1.0	14	1.2	-4	▲ 0.2
無回答	24	2.4	10	0.9	14	1.5



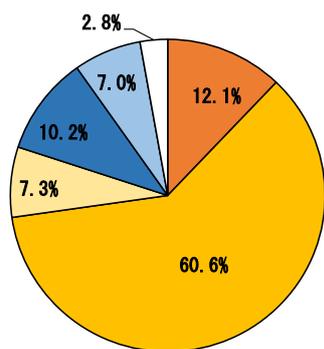
【調査結果の概要】

- ・「環境へのやさしさは、ふつうくらいだと思ふ」の割合が53.6%で最も多く、次に、「どちらかといえば、環境にやさしい方だと思ふ」が33.5%が多かった。
- ・前回と比較して、「環境へのやさしさは、ふつうくらいだと思ふ」が4.0%減少し、「どちらかといえば、環境にやさしい方だと思ふ」が2.1%増加した。
- ・全体としては、「どちらかといえば、環境にやさしい方だと思ふ」の割合が最も多かったものの、前回よりも減少した一方で、環境にやさしいほうだと思ふ割合が増加した。

問14 あなたの家庭では、電気、ガス、灯油などの省エネに取り組んでいますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)	
	回答数 (人)	構成比 (%)
省エネに取り組んでいて、エネルギー使用量を記録している。	120	12.1
省エネに取り組んでいるが、エネルギー使用量は記録していない。	601	60.6
過去に省エネに取り組んだことはあるが、今は取り組んでいない。	72	7.3
省エネに取り組んだことはない。	101	10.2
わからない。	69	7.0
無回答	28	2.8

問14 あなたの家庭では、電気、ガス、灯油などの省エネに取り組



- 省エネに取り組んでいて、エネルギー使用量を記録している。
- 省エネに取り組んでいるが、エネルギー使用量は記録していない。
- 過去に省エネに取り組んだことはあるが、今は取り組んでいない。
- 省エネに取り組んだことはない。
- わからない。
- 無回答

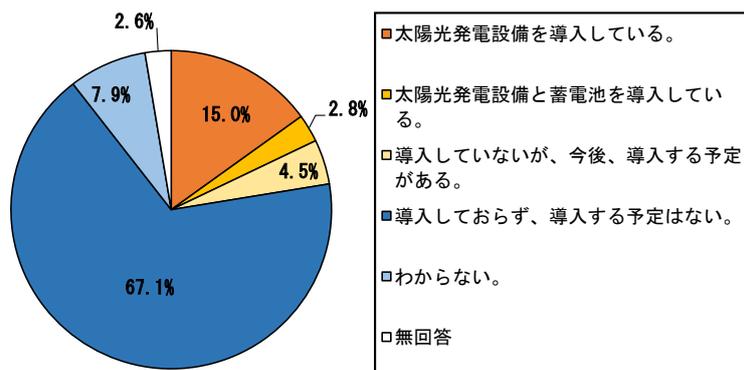
【調査結果の概要】

- ・「省エネに取り組んでいるが、エネルギー使用量は記録していない」の割合が60.6%で最も多く、次に、「省エネに取り組んでいて、エネルギー使用量を記録している」が12.1%で多かった。
- ・全体としては、「省エネに取り組んでいる」の割合が72.7%となり、地球温暖化や燃料高騰などの影響もあり、省エネの取組が普及してきていることが考えられる。

問15 あなたの自宅では、太陽光発電設備を導入していますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)	
	回答数 (人)	構成比 (%)
太陽光発電設備を導入している。	149	15.0
太陽光発電設備と蓄電池を導入している。	28	2.8
導入していないが、今後、導入する予定がある。	45	4.5
導入しておらず、導入する予定はない。	665	67.1
わからない。	78	7.9
無回答	26	2.6

問15 あなたの自宅では、太陽光発電設備を導入していますか。

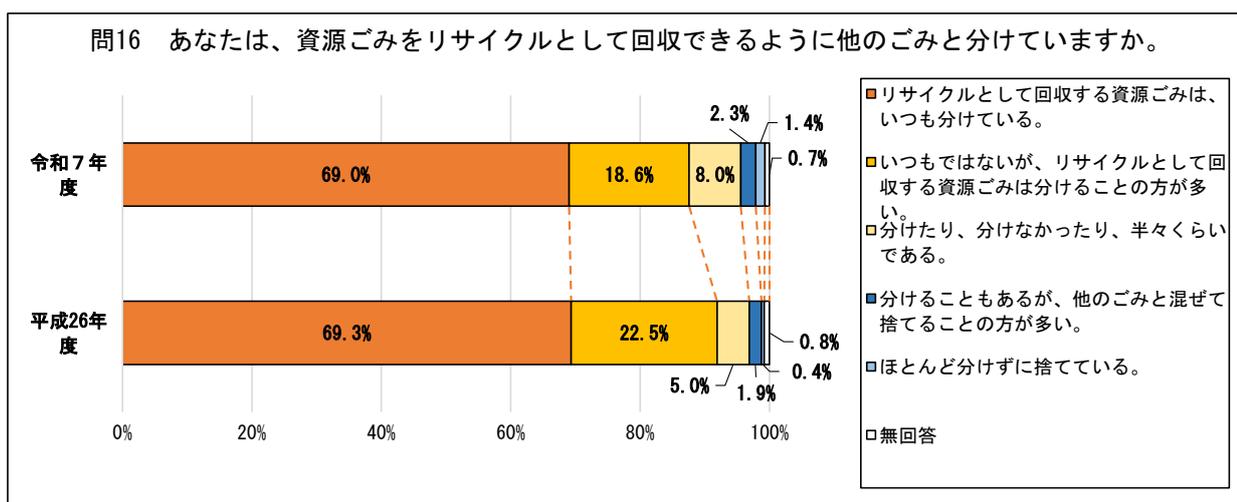


【調査結果の概要】

- ・「導入しておらず、導入する予定はない」の割合が67.1%で最も多く、次に、「太陽光発電設備を導入している」が15.0%で多かった。
- ・全体としては、「太陽光発電設備を導入している」と「太陽光発電設備と蓄電池を導入している」を合わせた割合が17.8%となり、普及は進んでいることが考えられる。

問16 あなたは、資源ごみをリサイクルとして回収できるように他のごみと分けていますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けている。	684	69.0	778	69.3	▲ 94	▲ 0.3
いつもではないが、リサイクルとして回収する資源ごみは分けることの方が多い。	184	18.6	253	22.5	▲ 69	▲ 4.0
分けたり、分けなかったり、半々くらいである。	79	8.0	56	5.0	23	3.0
分けることもあるが、他のごみと混ぜて捨てることの方が多い。	23	2.3	21	1.9	2	0.4
ほとんど分けずに捨てている。	14	1.4	5	0.4	9	1.0
無回答	7	0.7	9	0.8	▲ 2	▲ 0.1

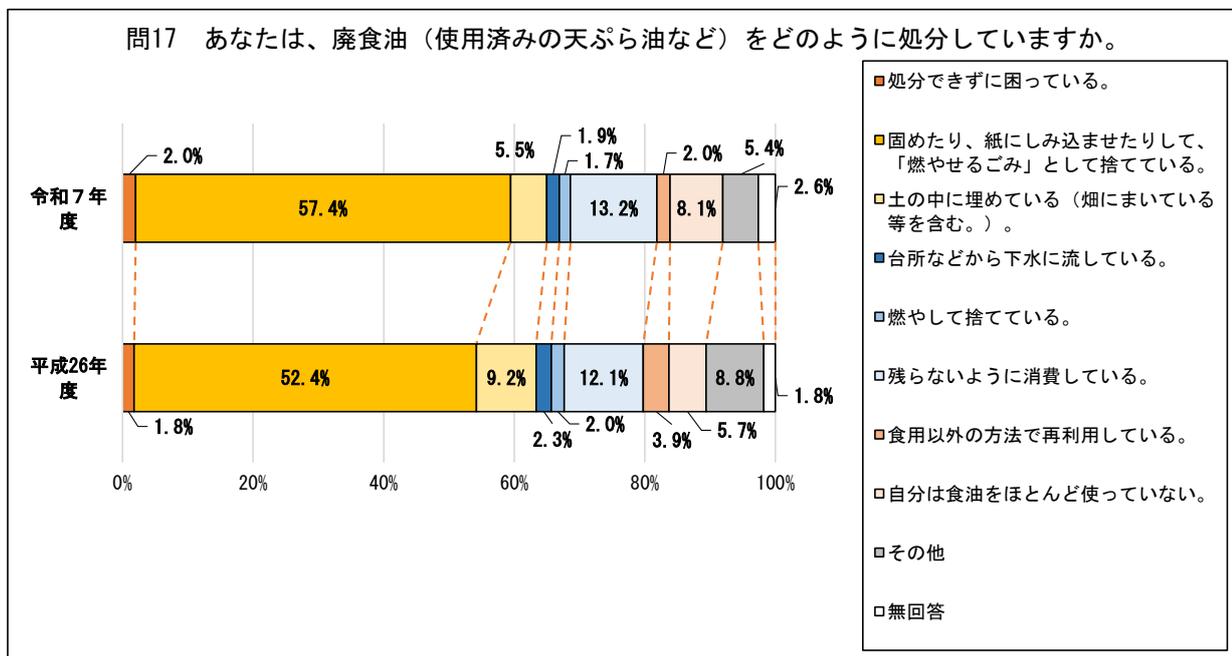


【調査結果の概要】

- ・「リサイクルとして回収する資源ごみは、いつも分けている」の割合が69.0%で最も多く、次に、「いつもではないが、リサイクルとして回収する資源ごみは分けることの方が多い」が18.6%が多かった。
- ・前回と比較して、「いつもではないが、リサイクルとして回収する資源ごみは分けることの方が多い」が4.0%減少し、「分けたり、分けなかったり、半々くらいである」が3.0%、「ほとんど分けずに捨てている」が1.0%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、前回同様に「いつも分けている」の割合が最も多く、前回との差異もそれほどなかったが、「半々くらいである」と「分けずに捨てている」の割合が増加した。

問17 あなたは、廃食油（使用済みの天ぷら油など）をどのように処分していますか。

回答項目	今回調査		前回調査		比較	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
処分できずに困っている。	20	2.0	20	1.8	0	0.2
固めたり、紙にしみ込ませたりして、「燃やせるごみ」として捨てている。	569	57.4	588	52.4	▲ 19	5.0
土の中に埋めている（畑にまいている等を含む。）。	55	5.5	103	9.2	▲ 48	▲ 3.6
台所などから下水に流している。	19	1.9	26	2.3	▲ 7	▲ 0.4
燃やして捨てている。	17	1.7	22	2.0	▲ 5	▲ 0.2
残らないように消費している。	131	13.2	136	12.1	▲ 5	1.1
食用以外の方法で再利用している。	20	2.0	44	3.9	▲ 24	▲ 1.9
自分は食油をほとんど使っていない。	80	8.1	64	5.7	16	2.4
その他	54	5.4	99	8.8	▲ 45	▲ 3.4
無回答	26	2.6	20	1.8	6	0.8



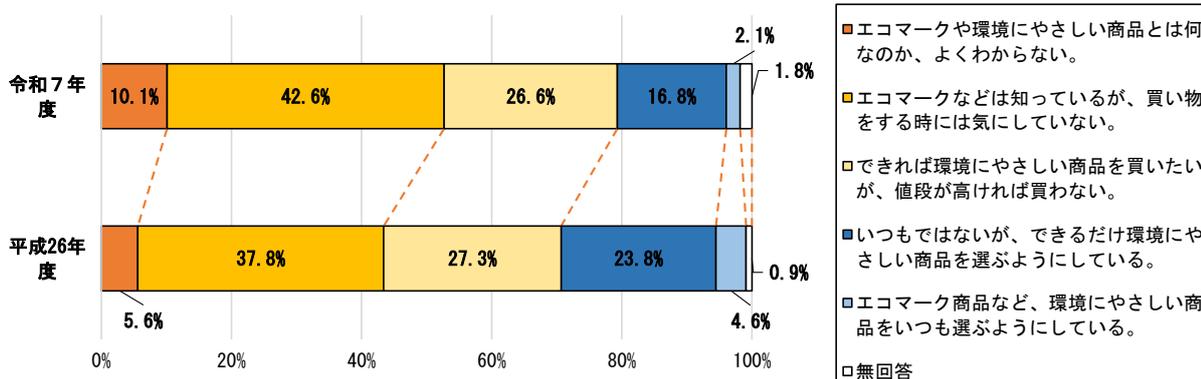
【調査結果の概要】

- ・「固めたり、紙にしみ込ませたりして、「燃やせるごみ」として捨てている」の割合が57.4%で最も多く、次に、「残らないように消費している」が13.2%で多かった。
- ・前回と比較して、「土の中に埋めている」が3.6%、「下水に流している」が0.4%、「食用以外の方法で再利用している」が1.9%、それぞれ減少し、「燃やせるごみとして捨てている」が5.0%、「残らないように消費している」が1.1%、「食油をほとんど使っていない」が2.4%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、前回同様に「燃やせるごみとして捨てている」の割合が最も多く、前回より割合が増加した。
- ・その他の回答としては、主に廃食油の回収利用であった。

問18 あなたは買い物の時、エコマークのついた商品など環境にやさしい商品を選んでいますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
エコマークや環境にやさしい商品とは何なのか、よくわからない。	100	10.1	63	5.6	37	4.5
エコマークなどは知っているが、買い物をする時には気にしていない。	422	42.6	424	37.8	▲ 2	4.8
できれば環境にやさしい商品を買いたい、値段が高ければ買わない。	264	26.6	306	27.3	▲ 42	▲ 0.6
いつもではないが、できるだけ環境にやさしい商品を選ぶようにしている。	166	16.8	267	23.8	▲ 101	▲ 7.0
エコマーク商品など、環境にやさしい商品をいつも選ぶようにしている。	21	2.1	52	4.6	▲ 31	▲ 2.5
無回答	18	1.8	10	0.9	8	0.9

問18 あなたは買い物の時、エコマークのついた商品など環境にやさしい商品を選んでいますか。

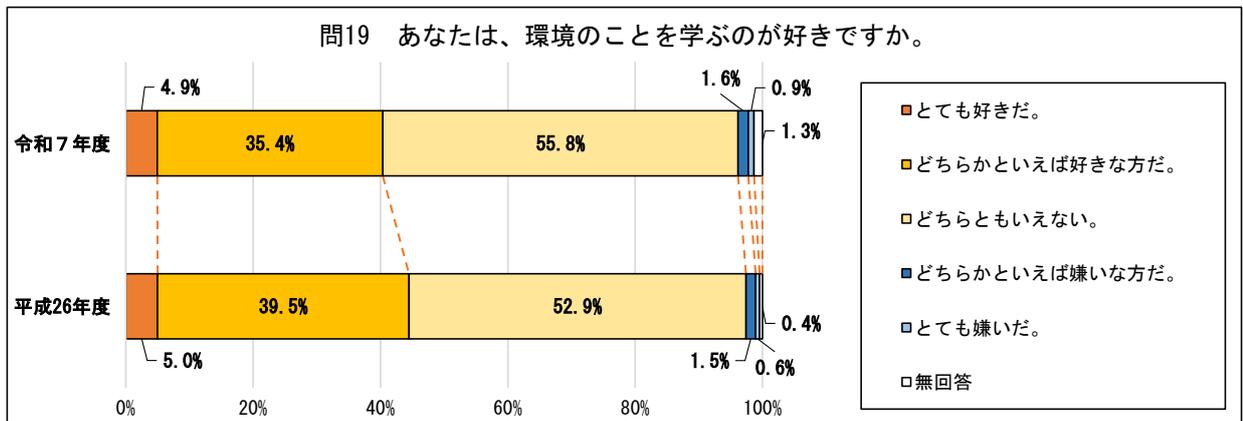


【調査結果の概要】

・「エコマークなどは知っているが、買い物をする時には気にしていない」の割合が42.6%で最も多く、次に、「できれば環境にやさしい商品を買いたい、値段が高ければ買わない」が26.6%で多かった。
 ・前回と比較して、「いつもではないが、できるだけ環境にやさしい商品を選ぶようにしている」が7.0%、「エコマーク商品など、環境にやさしい商品をいつも選ぶようにしている」が2.5%、それぞれ減少し、「エコマークや環境にやさしい商品とは何なのか、よくわからない」が4.5%、「エコマークなどは知っているが、買い物をする時には気にしていない」が4.8%、それぞれ増加した。
 ・全体としては、「何なのか、よくわからない」と「買い物をする時には気にしていない」の割合が増加し、選ぶようにしているの割合が減少した。

問19 あなたは、環境のことを学ぶのが好きですか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
とても好きだ。	49	4.9	56	5.0	▲ 7	▲ 0.0
どちらかといえば好きな方だ。	351	35.4	443	39.5	▲ 92	▲ 4.1
どちらともいえない。	553	55.8	594	52.9	▲ 41	2.9
どちらかといえば嫌いな方だ。	16	1.6	17	1.5	▲ 1	0.1
とても嫌いだ。	9	0.9	7	0.6	2	0.3
無回答	13	1.3	5	0.4	8	0.9

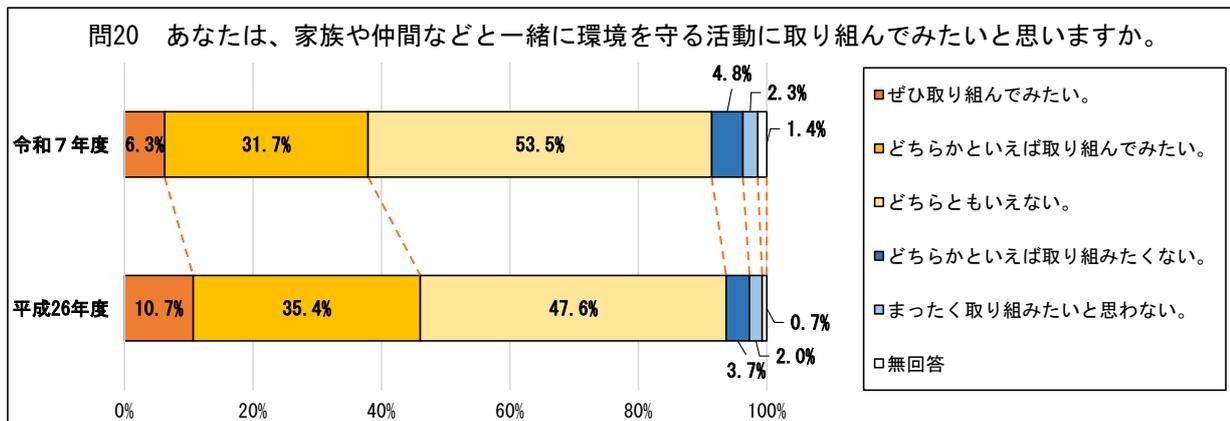


【調査結果の概要】

- ・「どちらともいえない」の割合が55.8%で最も多く、次に、「どちらかといえば好きな方だ」が35.4%で多かつ
- ・前回と比較して、「どちらかといえば好きな方だ」が4.1%減少し、「どちらともいえない」が2.9%増加した。
- ・全体としては、「好きだ」の割合が前回と比較して減少し、「嫌いだ」の割合が若干増加した。

問20 あなたは、家族や仲間などと一緒に環境を守る活動に取り組んでみたいと思いますか。

回答項目	今回調査 (令和7年度) (A)		前回調査 (平成26年度) (B)		比較 (A-B)	
	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)	回答数 (人)	構成比 (%)
ぜひ取り組んでみたい。	62	6.3	120	10.7	▲ 58	▲ 4.4
どちらかといえば取り組んでみたい。	314	31.7	397	35.4	▲ 83	▲ 3.7
どちらともいえない。	530	53.5	534	47.6	▲ 4	5.9
どちらかといえば取り組みたくない。	48	4.8	41	3.7	7	1.2
まったく取り組みたいと思わない。	23	2.3	22	2.0	1	0.4
無回答	14	1.4	8	0.7	6	0.7



【調査結果の概要】

- ・「どちらともいえない」の割合が53.5%で最も多く、次に、「どちらかといえば取り組んでみたい」が31.7%で多かった。
- ・前回と比較して、「ぜひ取り組んでみたい」が4.4%、「どちらかといえば取り組んでみたい」が3.7%、それぞれ減少し、「どちらともいえない」が5.9%、「どちらかといえば取り組みたくない」が1.2%、それぞれ増加した。
- ・全体としては、「取り組んでみたい」の割合が前回より8.1%減少し、「取り組みたいと思わない」の割合が若干増加した。

登米市の環境についての市民アンケート

問21 環境問題、環境行政に関して御意見や御要望がありましたらご記入ください。

分野	主な意見（集約の上、要約）
自然環境	登米市もまずは水質改善から取り組み、綺麗な環境を取り戻してほしい。
	無駄に太陽光などを導入せず、昔ながらの自然を残すことが環境対策だと思う。
	自然環境を観光産業に出来たらいいと思う。
	自然を生かし、新しいものをどんどん取り入れて欲しい。
生活環境	ポイ捨てを減らす活動をしてほしい。
	路上にごみが入った袋が置き去りにになっている時があるが、誰が捨てているのか。
	ポイ捨てが非常に多いので、住民意識をもっと高めなければならないと思う。
	不法投棄防止対策
	不法投棄の多い場所に防犯カメラなど取り付けて欲しい
	市民で地区のゴミ拾いなど、とても良い活動だと思っており、市民の活動だけでなく、学校、職場といった形でのゴミひろいの活動もすてきではないかと思う。
	ルールを守らない人が多過ぎる
	ペットの糞の始末をきちんとしてほしい。
	登米市指定のゴミ袋の名前を記入する欄を削除してほしい。
	クリーンセンターの日曜日の受け入れをもっと増やしてほしい。
	廃食油を常時回収できる場所がもう少し増えると良いと思う。
	燃やせるゴミや埋め立てゴミの小さい袋があると良い。
	リサイクルに関わる市の広報についてわかりやすくしてほしい。
	資源ゴミのリサイクル化、自然環境保全に力を入れるのはとても良い事だと思う。
	ゴミ分別をもっと細かく教えてほしい。具体的な品物名を出して何ゴミかわかる表のようなものがあると助かる。スーパーなどにあるペットボトル回収でポイントをもらえたり、好きな時間に出せると使いやすい。
	リサイクルステーションと通常のゴミ置き場が一緒だといい。
	プラスチックを分別して出すようになって、ゴミの量が半減した。集もっと行政でPRした方がいい。
	リサイクルセンターに持ち込まれる家財道具について、使えるなら販売もしくは譲渡できるシステムを構築してほしい。
	プラスチック製容器包装類の回収回数を増やして欲しい。
	燃えるゴミをリサイクルゴミに捨てていく人がいると聞いた。
	高齢者所有の管理ができない道路沿い草木竹などを行政の支援を受けて地域で環境改善できないか。
	可燃ゴミの自宅敷地内での焼却など規制を強化してほしい。
	いまだに家庭ごみを自宅で焼却している人がおり、住民への周知が足りないと思う。
	環境の事を考えると農業をする事が本当にむずかしくなっていると思う。
	汚染稲わら、牧草を早く処分してほしい
	公害相談件数が年々増加していますが、真摯な対応がなされているのでしょうか。
	水質汚染に繋がる除草剤の使い方や種類をいくらかでも軽減できる様に模索してほしい。
	生活排水の垂れ流しの放置状態も見られるので、できるだけ、行政指導を強化してほしい。
	深夜のバイク騒音、住宅地道路のトラックの深夜通行。
	家畜の悪臭対策をしてほしい。
	公共施設や道路について除草してほしい。
	側溝を10年から20年に一度は専門業者で清掃してほしい。
有害鳥獣について、目撃情報の周知も大事だが、適切な駆除を行ってほしい。	
アメリカシロヒトリ等の害虫が発生し困っている。	
無縁社会に、無縁墓地の多発の時代、改葬許可の簡素化指導をお願いしたい。	
環境（土壌）汚染につながる懸念があるので、登米市での土葬受け入れには強く反対する。	

登米市の環境についての市民アンケート

問21 環境問題、環境行政に関して御意見や御要望がありましたらご記入ください。

分野	主な意見（集約の上、要約）
地球温暖化	山林を破壊しての太陽光パネルの設置はやめるべき。
	温暖化が進む一方なので、電氣量が高いため支援があると助かる。
	急激な温暖化で農作目、海産物等の不作や不漁が多くなり、価格の変動が多くなってきている。温暖化対策を最優先で進めてほしい。
	電氣代が高く、太陽光発電に興味あるので、国、県に導入しやすいように働きをかけてほしい。
	特に地球温暖化防止には、各家庭の認識が問われ、又工業の発展による公害防止が急務と思われ、温室効果ガス抑制として、国際問題が守られていない。
	地球温暖化によるいろんな問題があり、又気候変動による線状降水帯や猛暑などこれからはいろんな災害が今まで以上に出て来ると思うので、国にまかせるだけでなく自治体にも対策をしっかりと構築してほしい。
	太陽光発電について、廃棄時の環境へのデメリットなどを分かりやすく知りたい。
	車での移動が常であり、化石燃料を使い続けている事に疑問を持っている市民は少ないと思われるので、環境問題を考えるのであれば、道路に自転車レーン等を整備し、化石燃料を使う頻度を減らす取り組みを具現化してほしい。
	田畑や山林などを削り、太陽光発電のソーラーパネルが設置してあるのを見ると、自然の豊かさや地元の景色が失われるように感じる。
環境意識	1人1人が環境に対する意識を向上させることが大切であると思う。
	環境に対する関心はあるが、年齢と重ねるごとにできないことが増えてきている。
	今の環境を後の代まで維持できたら素晴らしいと思う。
	環境について、協力することがあれば協力したいと思う。
	アンケート調査の結果を市民に知らせてほしい。
	しっかりとしたビジョンを持ち、サステナブルに環境保全と経済発展が両立する登米市の在り方を提案し、住みたくなるまちにつなげてほしい
	やらなくてはいけない事は分かっているがなかなか実行できないのが現状である。
	仲間と一緒に守る活動に取り組みたいが、仲間が集まるか不安である。
	登米市は住みやすい所で、今を守りつつ今なりのやり方で良くして行けるようにその方法を市民、特に子供達に広めてほしい。 環境問題はひとりでは気にしても力不足なので、行政の力でたくさんの方が力を合わせて取り組めたら良い。
環境情報・環境教育	子供たちが良い環境の中ですくすくと育つように整えてほしい。
	集荷したゴミはどのように活用しているのか詳しく知りたい。
	現在、登米市の自然をどのように産業として活用しているか教えてほしい。
	環境に関する取組推進のため、補助金・助成金を多く出してほしい。
	アンケートで、あらためて環境問題や用語を調べて学ぶ機会を得られた。
	登米市が環境についてどういったことをしているのかが知りたい。
	市全体で環境マネジメントし、環境汚染や自然保護の問題も、小さな事から市民一人一人が取り組めるようなイベントを開催してほしい。
	リサイクル事業について、子どものうちから十分な教育が必要だと感じる。今後の登米市を支えていく子どもたちの育成も大事だと思う。
	リサイクルされた資源ゴミが次にどんな処理をするのか、どの業者に渡るのか適切な処理がされてるのか登米市のゴミの行方をいつでもホームページなどで見れるといいと思う。
	地域ごとでもいいのでゴミの出し方とか分別とかの勉強会などがあってもいいのではないか。
	情報が足りないと思うので、広報や他の方法でも登米市の現在の状態を知らせてほしい。
	環境問題に関して日常的に行政としてのPR活動を活発に実施してもらいたい。
	気候変動、地球温暖化などについて、学びの場があれば良いと思う。
	今、最初に何をすべきか、勉強会みたいに地域ごとに計画を立てて自然体で取り組んで頂きたいです。小さな事から皆で勉強して住みやすい町づくりをめざしたいです
	プラゴミの行き先、太陽光などの使用後の行き先を知りたい。
行政側から環境問題に関して市民にどのようにしてもらえれば良いと思うか教えていただきたいと思います	
公園のベンチで日除けのないベンチが多いので夏などはゆっくり腰掛けられないので日除けのあるベンチを設置してほしいです。PFASの濃度を定期的に広報等で周知徹底してほしいです。	

登米市の環境についての市民アンケート

問21 環境問題、環境行政に関して御意見や御要望がありましたらご記入ください。

分野	主な意見（集約の上、要約）
その他	空き家及び空き地（耕作放棄地）対策をしてほしい。
	水田農業を守るため、農地保全環境の整備に力を入れてほしい。
	山火事拡大防止のため、山林整備、所有者不明山林の対策をしてほしい。
	環境も大事だが、住環境整備や健康問題が最優先だと思う。
	環境問題は重要だが少子化問題はもっと重要。人口減少で、従来通りの地域活動を展開すると、役割だけが増えて担い手が大変苦勞する。環境問題を取り上げて余計な地域活動を増やすのはやめたほうが良い。
	環境問題への取組を強化、対策するためにも経済の活性化、少子高齢化、人口像対策への取組が優先されるべき。
	環境問題などを、産業や観光に結び付ける事業・対策はないか。
	環境が良くても、経済の方が良くなってほしい。 環境と生活の利便性の確保。